

MY NIKKEI
私の日経
日経リヴァイブ編集部が
インタビューであなたに
とっての日経にせまります。



「人生を楽しむ」—ブラジルで学んだ生き方

社会保険労務士法人協心 法人社員 大阪支店長
特定社会保険労務士 吉村 徳男さん

ブラジルでの生活が
人生を変えた

大学卒業後、ブラジル・サンパウロにて日本語教師をしながら自分探しをしていました。卒業後に何の疑問もなく企業に就職をする気にもならず、大げさに言えば今後の生き方を模索したいと思ったからです。

ブラジルを選んだのは、それまでの自分の価値観を根底から覆すような、真逆の世界を体験したいと思ったから。日本のように経済・効率一辺倒ではない仕事や暮らしは、日本では考えられないような経験ばかりでした。そこで学んだのは、人生を楽しむという姿勢。ブラジルではどんな境遇でも誰もが無邪気で生き生きとしていて、自分もこうありたいと思いました。

帰国後、複数の企業で総務等の仕事に就きました。そこでブラジルでの生活との違いが目につき、なぜこれほど長時間労働やサービス残業が常態化しているのだろうと考えるようになりました。そこで社会保険労務士の資格を取得し、現在の事務所勤めることになりました。

日経は紙で読む！

日経を本格的に読みはじめたのは、帰国後に企業に就職した頃からです。中立的な論調が情報収集に最適で、自然と日経を読むようになりました。

今でも日経は紙で読んでいます。見出しや記事の大きさがレイアウトで、ニュースの重要性がひと目で分かるのが紙の新聞の魅力です。ネット上だとピンポイントに情報を取りにくい必要があり、情報が偏る可能性があると思います。

「働き方改革」が話題になっている昨今、日経の紙面から目が離せません。職員にも日経を読むように勧めており、重要な記事は切り抜いて事務所内で回覧したりもします。

「働き方改革」が産む
職場の混乱

人手不足に加え働き方改革に注目が集まる中で、企業からの相談が増加しています。長時間労働の改善に注目が集まっていますが、肝心の労働生産性の向上という部分が置き去りにされているように感じます。

じます。また、本人に意欲があっても一斉に帰宅を余儀なくされるなど、画一的な労務管理も限界にきているように思います。働き方改革は、国が主導し企業側でも大手をはじめ制度が整えられつつあります。しかし、働き方改革の主旨は、言うまでもなく労働者自身です。最終的には労働者が生産性を向上させることができなければ、単なる労働時間規制で終わってしまいます。生産性の向上まで見据えて、働く人のモチベーションをいかに上げていくかがコンサルティング業務の中心になっていきます。

働く人の価値観が多様化し、従来の労務管理が限界にきているからこそ、それにあつた新しい働き方や組織・職場のあり方を提案しています。同じ課題でも、トップの考え方や社風によつて解は変わってきますので、私たち自身も仕事に対して柔軟に多様化していかなければいけません。誰もが生き生きとして人生を楽しめる、そんな会社・社会づくりに貢献できればと思います。

社会保険労務士法人協心 大阪支店
〒530-0054 大阪市北区南森町1-14-19 サウスホレストビル6階 / TEL:06-6809-2117 / FAX:06-6362-5388 / URL:https://kyoshin.group/
業務内容:労務保険・社会保険手続き、給与計算、人事労務相談顧問、就業規則作成、賃金・人事制度構築、セミナー・社内研修講師、助成金申請ほか

NIKKEI's Information

日経からのお知らせ

日本経済新聞朝刊の紙面改革を11月に実施しました。「未来が見える」をキーワードに、時代を読み解く紙面を大幅に増やしました。ニュースをより深く掘り下げ、新たな視点を提供する解説や分析に一層力を注いでまいります。

注目の新連載・新紙面

▼「ニッポンの革新力」(1面大型連載)

米国や急成長する中国やインド、新興国の追い上げで、「技術立国日本」の看板が揺らいでいます。その一方で日本には治安の良さや観光資源など世界に通用する強みも。データに基づき、日本の技術力や企業競争力を検証し、日本産業界の進むべき道を探ります。



2017年11月1日
日本経済新聞
朝刊21面(抜粋)



2017年11月1日
日本経済新聞
朝刊1面(抜粋)

す。1面連載に連動し、近未来の世界経済を変える技術やトレンドの行方を予想する「Innovation Roadmap 2030」は、デジタルな紙面でお届けしています。

▼「NEXT1000」(隔週火曜日)

将来の日本経済のけん引役として成長が期待される、中堅企業を紹介。投資先としても魅力的な企業を探ります。

▼「Digital Trend」(隔週火曜日)

SNSの情報発信力やネット上の新しい決済手段などの事象を消費者目線でわかりやすく解説します。

▼「ポスト平成の未来学」(木曜日)

記者が未来の端緒を感じさせる最先端の現場を実験ルポ。次の時代の社会像を探ります。

編集後記
Editor's Voice

11月より日本経済新聞の月ぎめ購読料を改定させていただきました。紙面はさらに充実し、皆さまのお役に立つ情報を今後もお届けしてまいります。日経REVIVEも、より皆さまの暮らしやレジャー、さらにはお仕事にも役立つような紙面づくりを心がけてまいります。今後とも日本経済新聞ならびに日経REVIVEをご愛読ください。

次号は2018年2月8日(木)発行です。

- 発行:日本経済新聞社大阪本社 販売局マーケット開発部
〒541-8515 大阪市中央区高麗橋1-4-2
- 編集制作:株式会社日経ビーアール
株式会社トライアウト
- 広告:株式会社日経ビーアール
- 紙面および広告についてのお問い合わせ:
株式会社日経ビーアール
TEL 03-6812-8675
受付時間 10時~17時(土・日曜、祝日除く)

12月号のプレゼント

応募方法
ご希望のプレゼント名(P9、P11参照)、郵便番号、住所、氏名、性別、年齢、職業、電話番号、12月号のご感想を明記の上、インターネットまたはハガキで右記までお申し込みください。
※6月1日から郵便料金が改定されています。ハガキでのご応募の際は、恐れ入りますが62円のハガキまたは切手を貼ってお送りください。

インターネット <http://www.nikkeipr.co.jp/revive/>
(インターネットでの受付は12月7日~14日)

ハガキ宛先 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-10
日経ビーアール「日経リヴァイブ12月号 プレゼント」係

【応募締め切り】2017年12月14日(木) ※消印有効

※ご当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。ご応募はお1人様1通をお願いいたします。

【プライバシーポリシー】ご記入いただいた個人情報は日経ビーアールが責任を持って適切に管理いたします。読者の皆さまの住所、氏名、性別、年齢などの個人情報は、当選者へのプレゼントの送付と今後の当紙のあり方の参考とするための統計に使用させていただきます。それ以外の目的で使用することはありません。日経ビーアールの「個人情報の取扱について」は下記のURLまたはQRコードでご覧いただき、ご同意いただける方のみご応募ください。
http://www.nikkeipr.co.jp/privacy/about_privacy.html

